

# 2021年度 事業計画書

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議

# 2021年度事業計画書

## 基本方針

- ・ 特定非営利活動法人として、特定非営利活動法第2条、別表第1号(保健医療又は福祉の増進を図る活動)及び第7号(環境の保全を図る活動)に規定する各種事業を推進する。
- ・ 大学、国公立試験研究機関などのバイオ技術シーズや産業界のニーズを積極的に結び付け、産学官連携事業を推進するとともに、ベンチャー企業の創生と育成に向けたハンズオン支援事業に取り組む。
- ・ 産学官の有機的な連携を図りつつ、研究開発の推進、人材の育成、研究会・シンポジウムによる普及啓発活動を通じて、バイオインダストリーの振興に寄与する。
- ・ 近畿地域のみならず全国のバイオ関連団体との連携を密にし、相互間の協力体制の強化を図る。
- ・ 国のバイオ関連施策はもとより、地域の取り組みや施策等についても積極的に取り上げ、その普及を図る。
- ・ エネルギー・地球環境・健康などバイオテクノロジーがキーとなる課題に積極的に取り組む。
- ・ 会員にとって真に魅力的で有益な情報を幅広く提供していくとともに、特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議の活動を積極的に対外に広報する。

## これまでの活動の経緯と総括

特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議は、故・山村雄一大阪大学総長らが発起人として1985年に設立された任意団体近畿バイオインダストリー振興会議を前身とする団体で、その目的は、近畿地域に集積するバイオ分野の技術シーズを産学官の密接な連携のもとに事業化させ、産業発展に寄与するということであった。

2003年に特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議(以下:近畿バイオ)と組織変更し、経済産業省の産業クラスター計画「関西バイオクラスタープロジェクト」の推進機関として、近畿地域に集積するバイオ研究者及びバイオ関連企業とのネットワークを形成、拡大しつつ、その産学官のポテンシャルを最大限に活用した事業構築を行い、関西発のオープンイノベーションを実現するための活動を行ってきた。

具体的には、大学・研究機関等の研究者が持つ優秀なバイオ技術シーズの発掘・収集、その事業化の可能性の評価、大手・中堅企業とのマッチングの場であるバイオ技術シーズ公開会及び関西バイオビジネスマッチングの開催、研究プロジェクトの創成、公的資金獲得支援など、事業化に向けた一貫したハンズオン支援を実施してきた。結果、これらの活動により、100社あまりのバイオベンチャー企業が創生・育成され、また、中堅・中小企業からのバイオ分野への進出など関西のバイオ関連産業の基盤拡大がなされた。

このような状況において、国の成長戦略における取り組みとしても、大学の技術シーズを最短距離で産業界につなぐための「橋渡し機能」の強化や研究成果を社会実装に繋げるためのベンチャー企業の創出、育成、活用に向けた検討がなされている。今後も大学・研究機関等からの優良なバイオ技術シーズの効率的な発掘・提供から事業化に至るまでの一貫した支援を継続して実施する。

## 事業内容

### I. 会務関連

#### 1. 会員総会・理事会 2021年 6月17日(木)

2020年度事業報告・2020年度活動計算書  
2021年度事業計画・2021年度活動予算書  
役員改正について

#### 2. 記念講演会 2021年 6月17日(木)

「データ立国論」

慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教室 教授 宮田 裕章

#### 3. 新規会員勧誘活動(新規)

バイオ産業の振興を促進し、バイオによる社会課題解決に貢献するため、また、その活動を支える財政基盤を強化するため、新規会員の勧誘活動を継続的に実施する。近畿バイオの活動紹介のためのパンフレットや紹介資料を整備し、広報活動や個別勧誘を行う。

#### 4. 新規会員紹介イベント(新規)

昨年度、試験的に実施した新規会員紹介イベントを、今年度も継続実施する。実施時期は固定せず、新規会員が数社集まった段階で開催する。参加者の利便性を考慮し、オンラインでの開催を継続する。

### II. 業務関連

#### 1. バイオ関連技術産業化支援事業

##### (1) バイオコミュニティ関西(新規)

2021年7月「バイオコミュニティ関西(Biocommunity Kansai/BioCK)」設立を目標に、公益財団法人都市活力研究所と共同で準備を進める。産業界が中心となって、社会課題解決のためのオープンノベーションの場をつくることがコンセプトであり、内閣府「バイオ戦略2020」に基づく「グローバルバイオコミュニティ」の認定を目指している。

今年度は、まず近畿バイオ会員への説明会を実施する。また、昨年度から開始した社会課題の明確化、あるべき未来像などについて考えるための勉強会としてセミナーを継続開催するとともに、各分科会の活動を支援し軌道に乗せる。さらに、内閣府が求めているグローバルバイオコミュニティとしての機能を整備し、年度末に公募が予定されている「グローバルバイオコミュニティ」に応募する。

##### (2) 産学個別マッチング

大学の技術シーズと企業ニーズとのマッチングを目的として、近畿圏の大学の産学連携部門とのネットワークを活用し、技術シーズの発掘を行うとともに企業への紹介を行う。また、新しい技術を有する中小・ベンチャー企業を発掘し、ニーズを有する企業へのマッチングに繋げ、事業化を支援する。

##### (3) 関西再生医療産業コンソーシアム(KRIC事業/近畿経済産業局)

本事業は2017年度から継続して実施している。昨年度に引き続き、本年度のKIRC事業も、NIRO(公益財団法人新産業創造研究機構)が受託することとなり、近畿バイオとしてその

事業に参画する。主たる内容はコーディネーター活動によるマッチング業務。

#### (4) スマートセル関連実用化支援事業(近畿経済産業局)

本事業は2018年度から継続して実施している。昨年度に引き続き、本年度のスマートセル事業もダン計画研究所が受託することとなり、近畿バイオとしてその事業に参画する。

## 2. バイオベンチャー支援事業

### (1) 関西バイオビジネスマッチング2021の開催

バイオ分野で事業展開している企業等を対象に、業務提携、販路開拓、アライアンス締結等の推進を目指して商談会を開催する。昨年度、オンライン開催によるトライアルを実施した結果、面談の機会が得られて有難い、遠方からも参加しやすい、大人数で参加しやすい等、オンラインに前向きな反応があり、さらに財政面でのメリットも大きいことから、本年度もオンラインで商談会を開催する(10月募集開始予定)。全国各地域のバイオ関連団体の協力を得て、新しい技術を有する企業の勧誘を強化するとともに、事前面談によるアドバイスや個別商談のセットアップとフォローを行うことにより、マッチング効率を高める。

### (2) 2021年度 海外ビジネス展開等支援事業(大阪府からの受託事業)

昨年に引き続き、本事業を大阪府から受託し実施する。本事業は、府内を中心としたライフサイエンス関連中小・ベンチャー企業のグローバルなビジネス展開を支援することを目的としている。具体的には、府が参加する海外のライフサイエンス関連展示会に同行して海外クラスターとの連携を強化するとともに、海外企業等とのマッチング・アライアンスを促進するため「欧州ライフサイエンス企業との商談会」を実施し、さらにその事前勉強会として産学官連携情報交流セミナーを2回実施する。商談会はオンライン開催とし、9月27日(月)～30日(木)に実施する。

### (3) BioJapan2021出展支援

BioJapanはバイオビジネスにおけるアジア最大のパートナーングイベントとして知られ、国内最大級の展示会である。近畿バイオは同展示会の主催団体のひとつとして、これまで毎年共同出展を実施してきた。共同出展は、通常の個別出展に比べ出展費用が安く、バイオベンチャー企業にとって、大手企業とのアライアンスを目指す良い機会となる。

本年度も昨年に引き続き、共同出展の参加企業を募集する。本事業の黒字化を図るため、出展料を改定するとともに、ホームページやメルマガ等を通じて広報を行う。

#### ◆出展料の改定

改定前:128,000円(一律)

改定後:128,000円(近畿バイオの正会員(準会員を含まない)、180,000円(左記以外)

#### ◆募集対象の設定

正会員(準会員を含む):条件なし

非会員:(1)バイオテクノロジー分野の研究開発もしくは研究支援を行っていること

(2)本社または事業所所在地が原則近畿圏内にあること

### (4) 関西バイオベンチャー企業一覧

バイオベンチャー企業一覧は、バイオベンチャーにアクセスするための有用ポータルとして活用されており、各ベンチャー企業とのネットワーク形成・維持にも役立っている。本年度も継続して更新作業を実施するとともに、新規掲載企業を増やして、より網羅性を高める。

一方、システムのメンテナンス期間満了のため、早急に新しいシステムへの移行が必要となっている。また、他機関でバイオベンチャー一覧を公開する動きもあることから、改めて本事業の目的・掲載範囲・財源確保などについて再検討する。

### 3. 研究会

#### (1) 生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会

機能性食品の開発・商品化を通じて、高齢化社会における健康の維持、疾病・老化の予防、食産業の発展に寄与することを目的として2006年8月に設立した本研究会は、延べ59回の研究会を開催し、今年度で15年目を迎える。機能性食品が「予防医学・代替医療」として有効に活かされていくよう、アカデミアにおける新しい知見を勉強する場として、また、科学的根拠に基づいた機能性、有効性および安全性を議論し、健康食品の信頼性を高める場として研究会を継続して開催する。

<開催予定>

参加者の利便性を考慮し、オンラインでの開催を継続する。これまでの年4回開催（講師8名）を、年6回開催（講師12名）目標に変更し、従来の会場費用を講師費用に充当する。

また、新たに、「関西くすりと健康食品フォーラム（仮称）」を神戸薬科大学エクステンションセンターと共催で開催する。参加対象は薬剤師、管理栄養士、近畿バイオ会員の食品メーカーとし、薬剤師や管理栄養士が機能性食品の知識・情報を取得し、企業の開発者と議論できる場を提供する。主催は神戸薬科大学、近畿バイオは主に企業からの講師を推薦する。

例年、星薬科大学イノベーションセンターとの共催で開催していた「日本くすりと食品機能フォーラム（東京）」は、星薬科大学から要請があれば開催する。

#### (2) バイオの次世代を考える会

次世代を担う大学若手研究者と企業若手社員（研究、経営企画等）、近畿経済産業局若手職員とのネットワーキングとオープンイノベーションに繋がる異業種交流会として運営してきたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リアルな交流会の開催が難しくなり、今後の在り方を模索してきた。未来のバイオを担う次世代研究者をどう支援し育成するか、今年度も引き続き検討し、次年度に向けて新しい形の活動計画を策定する。

#### (3) 毛細血管ラボ・社会実装コンソーシアム

前年度から、新規事業として、毛細血管画像を健康指標として確立すること、およびその社会実装を行うことを目的としたコンソーシアムの設立準備を開始した。

毛細血管画像は、生活習慣病などの特定の疾患、老化、疲労、ストレスなどの健康状態や美容と関連する指標として活用できる可能性がある。毛細血管画像と健康状態との関連を明らかにし、新しい健康指標として確立することができれば、健康寿命の延伸に貢献できる可能性があり、その意義は大きい。

今年度は、昨年に引き続き、会員勧誘のためのオープンセミナーを開催し、毛細血管画像活用の可能性とコンソーシアムの制度設計を示しながら、参加企業を募集する。初年度の活動としては、勉強会のためのセミナー開催や活動計画策定のための会議を中心に進める。

### 4. セミナー・講演会

#### (1) 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー

ライフサイエンス分野で最先端の研究をリードしている関西の先生方にご講演いただくセミナーを公益財団法人都市活力研究所と共同で継続開催する。参加者の利便性を考慮し、オンラインでの開催を継続する。

◆第28回：2021年 6月 9日（水）

「ゼブラフィッシュを用いた循環臓器発生学研究」

国立循環器病研究センター 研究所 所長 望月 直樹

「多剤耐性化を引き起こす細菌薬剤排出ポンプの機能と制御」

大阪大学産業科学研究所 生体分子制御科学研究分野 教授 西野 邦彦

◆第29回 : 2021年 9月(予定)

◆第30回 : 2021年12月(予定)

◆第31回 : 2022年 3月(予定)

## (2) 会場参加型トークセミナー

宮田 満氏のコーディネートによる会場参加型トークセミナーを開催する。本年度も企業のトップの方をお招きし、講演とトークセッションを行う。参加者の利便性を考慮し、オンラインでの開催を継続する。

◆2021年6月24日(木)

ノーベルファーマ(株) 代表取締役社長 塩村 仁

## 5. 海外交流

### (1) 新春国際交流会

新春イベントとして、毎年、各国バイオ関連機関などのショートプレゼンテーションおよびパネル展示による交流・情報交換会と宮田満氏による講演を実施してきた。しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交流会は中止とし、代わりに「新春バイオトークセミナー」と題して、宮田氏による講演およびフリートークをオンラインで開催した。

本年度も、参加者の利便性を考慮して、オンライン開催とする。宮田氏による講演に加え、オンラインでも実施可能な海外交流プログラムを検討する。

◆2022年 1月(予定)

### (2) カナダ・日本交流マッチング事業

カナダ大使館・領事館とは長年にわたり様々な共催事業を実施してきた。今後も、バイオ分野における投資やビジネスチャンス等について情報交換できるよう関係を維持し、共催イベント企画があれば協力する。

## 6. その他

### (1) 西宮市植物生産研究センター企画業務(西宮市より受託)

西宮市植物生産研究センターの企画業務を支援するとともに、同センターで開発された新しい植物の商標登録出願に伴う会計事務等を行う。

### (2) メルマガ配信

他団体のバイオ関連の各種イベント情報を、関係各位にメールマガジンとして、定期配信(2回/月)する。